

平成27年度 第4回高士区地域協議会

次 第

日時：平成27年6月24日（水）午後6時30分～

会場：公民館高士分館 2階 中会議室

1 開 会

2 会長挨拶

3 報告事項

○上越市公の施設の再配置計画（各論）について

・高士スポーツ広場（体育館・野球場）について・・・体育課

4 その他

5 閉 会

高士スポーツ広場（体育館・野球場）について

1 施設の状況

- 施設の名称・住所

上越市高士スポーツ広場体育館及び研修室 上越市飯田 35

〃 野球場 上越市大字飯田 200

- 体育館及び研修室は、旧高士中学校として昭和 26 年に建設され、築 63 年が経過しており、老朽化が進んでいる。また、野球場は平成元年に整備され、築 26 年が経過している。
- 体育館は延床面積 774 m²で、バスケットボール、バレーボール、テニス、バドミントンなどに使用できる多目的体育館である。
- 利用状況は、体育館及び野球場を合わせて年間約 10,000 人が利用しているが、平日の昼間の利用はほとんど無く、平日の夜間や土日、祝祭日の昼間に特定団体（リトルシニアリーグ）が利用している。
- 施設の維持管理費は、年間で約 954,000 円（光熱水費 201 千円、管理委託費 289 千円、修繕費 292 千円、その他 172 千円）で、使用料収入は、年間で約 50,000 円である。

<体育館の利用状況>

	H24	H25	H26	平均
利用者数	8,973 人	8,621 人	7,745 人	8,446 人
利用件数	286 件	279 件	263 件	276 件
野球	264 件	274 件	260 件	266 件
フットサル	22 件	2 件	0 件	10 件
テニス	0 件	2 件	2 件	
バレーボール	0 件	1 件	0 件	
バスケットボール	0 件	0 件	1 件	

<野球場の利用状況>

	H24	H25	H26	平均
利用者数	2,200 人	3,189 人	2,587 人	2,658 人
利用件数	59 件	86 件	61 件	69 件
野球	59 件	86 件	61 件	69 件

2 体育施設における再配置計画について

(現状と課題)

- ①合併により、同種の施設が多数あるほか、小・中学校の体育館やグラウンドが夜間・休日に一般開放されており、同様の使用が可能である。
- ②全体の 8 割が築 25 年を経過しており、施設・設備の老朽化が進み、今後、多額の修繕費の発生が懸念される。
- ③施設の規模等から、北信越地区・全県・全市レベルの大会会場として使用できる施設とそれ以外の施設で利用状況が二極化している。

(再配置の基本的な考え方)

各施設の位置付けや利用圏域・利用実態等を踏まえ、次のとおり再配置を進める。

- ①市内外の大会会場等として利用される規模の施設は現状維持とする。
- ②利用者が特に少ない施設について、再配置の検討を進める。
- ③耐用年数を経過し劣化が著しい施設、利用者が少ない施設について、再配置を進める。
- ④生涯スポーツの推進の観点から利用される施設は、学校開放施設を含め、地域の配置バランスを考慮し、再配置の検討を進める。

(上記を踏まえ、高士スポーツ広場を廃止とした理由)

- ①市内外の大会会場等として利用される規模の施設ではないこと。
- ②年間 10,000 人の利用はあるが、特定団体（リトルシニアリーグ）の利用に限る状況にあること。
- ③体育館は、旧耐震基準の建物であり、耐用年数を超過した老朽施設であること。
- ④近隣に高士小学校、雄志中学校、清里中学校、三和中学校、三和体育館及び清里スポーツセンターなどの施設があること。

以上のことから、市として当該施設を廃止する方針とし、地元や利用団体との合意形成を図る期間を考慮し、平成 30 年度の廃止とした。

3 今後の予定

高士スポーツ広場の体育館及び野球場は、専ら特定団体（リトルシニアリーグ）が利用しており、当該施設の廃止後も利用を継続したい意向を示している。このため、施設廃止後の取扱を含め、平成 29 年度までに対応を検討していきたい。